

FASID 奨学金プログラム 研究報告会 ご案内

国際開発機構(FASID)では、国際開発関連分野で博士の学位取得を目指す日本人材への支援事業として奨学金プログラム(給付型)を実施しています。今春、博士の学位を取得された FASID 奨学生(6 期生)小杉穂高氏(UNICEF Kenya Country Office, WASH Officer)を迎えて、研究発表会を開催します。

報告者 小杉 穂高 UNICEF Kenya Country Office, WASH Officer

FASID 奨学金プログラム 6 期生 /

東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 博士後期課程修了

令和元年度 東京大学総長賞受賞

テーマ ポジティブ・デビエンスによる望まない妊娠と性感染症予防

ーウガンダでのコンドームとホルモン配合避妊薬併用法の促進ー

女性の望まない妊娠と HIV 等の性感染症の両方を予防することはサブサハラ・アフリカ諸国共通の公衆衛生課題である。この 2 つの課題を同時に解決するには、避妊効果の高いホルモン配合避妊薬と性感染症予防のためのコンドームの併用(デュアル・メソッド)が効果的である。しかし、この方法を実践するカップルの割合は低く、そのエビデンスも限られている。本研究では、ポジティブ・デビエンスの手法を用いて、デュアル・メソッドを実践する少数の女性に特徴的な行動を分析し、女性同士のピアサポートによるデュアル・メソッド普及介入プログラムを策定した。その後、ランダム化比較試験によりその介入効果の検証を行った。本報告会では、本研究の結果に加えて、博士研究と開発実務の両立から得られた知見や研究と開発実践の結びつきについても発表する。

日 時: 2021 年 11 月 19 日(金) 12:00-13:00 (日本時間)

(研究報告・質疑応答、奨学金プログラム説明あり)

対 象: どなたでも参加頂けます

開催方法: オンライン (Zoom ミーティング) **参加費:** 無料 (要事前申込)

報告者 略歴 (こすぎ ほだか) 早稲田大学人間科学部卒業後、政府機関に勤務。その後、オーストラリア国立大学からジェンダーと開発学修士号、東京大学大学院から保健学修士号を取得。JICA 海外協力隊としてケニアで活動した後、UNICEF ウガンダにて、開発と緊急援助における水・衛生事業を担当。同時に FASID 奨学金プログラムからの支援を受け、ウガンダにおける HIV 感染リスクと避妊法に関する研究に取り組む。2021 年、東京大学医学系研究科より博士号(保健学)を取得。現在は UNICEF ケニアにて水・衛生担当官として勤務。

申込み: 「申込フォーム」からお申込みください

締切り: 定員 30 名(先着順)あるいは 11 月 16 日 15 時(日本時間)のいずれか早い日程

主催・お問合せ 一般財団法人 国際開発機構 FASID 奨学金プログラム事務局 (担当: 服部)

〒106-0041 東京都港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階

email : gakui@fasid.or.jp / TEL : 03-6809-1996